

臨時稲作管理速報

令和8年7月21日

斑点米カメムシが発生しています！

- ・すくいとり調査の結果、発生が確認された数は例年並みでしたが、毎年カメムシによる被害粒が顕著にでています。引き続き防除の徹底をお願いします。
- ・カメムシは水田周辺の雑草地、畦畔、農道に生息しており、ホタルイ、ヒエなどの水田雑草にも生息しています。
- ・特にイネ科雑草の穂を好むため、雑草の出穂前に刈り取る事が重要になります。

対 策

- 水稻の出穂10日前までに、水田周辺の草刈りを終了しましょう。
- 遅くなると水田内にカメムシを追い込んでしまいます。
- 出穂期以降の薬剤防除は、**穂揃期とその後7～10日後の二回防除が効果的**です。

高温対策を行いましょう！

- ・今夏も昨年同様の酷暑が予想されております。白未熟粒(乳白粒、背白等)による品質低下が懸念されますので、対策として水の管理が大切になってきます。

水の管理方法

- 幼穂形成期は間断灌水、出穂期は浅水管理、出穂後は飽水管理を行いましょう。
- 「間断灌水」とは、水を張ってなくなったら入水する管理方法です。
- 「飽水管理」とは、足跡に水がなくなったら入水して土壌を湿潤状態に保つ管理方法です。
- 稲の根に、酸素と水を供給することが大事になります。

川崎町農作物防除協議会

(大河原普及センター・川崎町・農業委員会・JA みやぎ仙南川崎・NOSAI 県南支所)

※令和8年度のカメムシすくい取り調査結果は裏面にてご確認ください。

お問い合わせ先

- JAみやぎ仙南川崎地区組織営農課
電話 84-2222
- 川崎町農林課農業係
電話 84-2304

斑点米カメムシ類すくい取り調査結果について

【注意事項】

- ①ほ場の状況により斑点米カメムシ類の発生数は変わりますので、この調査結果を参考に各々の農家が確認し、判断して下さい。
- ②防除する場合は、ほ場を確認の上「チラシの対策」のとおり、適切に防除することが大切です!!
- ③米の品種や田植え時期及び隣接地に遊休農地や畦畔の除草が行われていない等の状況により、斑点米カメムシ類の発生数は増減します。

《すくい取り調査方法》

- ① 捕虫網（枠の直径 36 cm、枝の長さ 100 cm、網目の細かいもの）を使用します。
- ② 自分を中心に半円を描くように網を振り、前進しながら、合計 20 回（往復 10 回）すくい取ります。

川崎町（調査日：令和8年7月16日(木)）

No.	調査日	調査地点名	カメムシ類 採取数	生育状況等	カメムシ類 採取数	
1	7月16日	前川字山長	多	雑草地	少	1～3
2	7月16日	今宿字立野屋敷	多	雑草地	中	4～10
3	7月16日	川内字内木戸	中	雑草地	多	11～
4	7月16日	今宿字関下	中	牧草地		
5	7月16日	前川字浪形	中	雑草地		
6	7月16日	前川字槻木	中	雑草地		
7	7月16日	小野字二本松	多	雑草地		
8	7月16日	支倉字大針	中	雑草地		
9	7月16日	支倉字下音無	少	雑草地		
10	7月16日	支倉字草井刈	多	雑草地		
11	7月16日	支倉字簾子沢	少	雑草地		
12	7月16日	支倉字川窪	少	雑草地		
13	7月16日	川内字新大原前	少	牧草地		
14	7月16日	川内字向原	中	牧草地		
15	7月16日	川内字溜水	多	牧草地		
16	7月16日	川内字柳生川	多	牧草地		
17	7月16日	本砂金字砂金一番	少	雑草地		
18	7月16日	本砂金字内野一番	少	雑草地		